

SUPPORTER'S SELECTION

サポーターの皆さんのオススメ本です。本選びの参考にどうぞ♪



豊橋 **大野 真知子さん**オススメ

『ハッピーバースデー』
青木和雄、吉富多美 作 (金の星社 2005)

豊図開架 913.6 : A53

主人公のあすかは、母からの愛情を受けられずにいた。11歳の誕生日に母の非情な言葉を聞き、ショックを受けたあすかは翌朝起きると声が出なくなっていた。その後、祖父の家で療養することになったあすかに、心の変化が訪れる。物語の後半は、転校先で起きていたいじめじめにあすかが立ち向かっていく姿が描かれる。最近よくニュースで聞く虐待、いじめという問題を題材としており、考えさせられると共に、泣ける物語。

豊橋 **太田 朱音さん**オススメ

『中国美人伝』
陳舜臣 著 (新潮社 2004)

豊図開架 913.6 : C46 名図開架 913.6 : C46

中国の歴史で美人と呼ばれた西施、卓文君や王昭君など。故事成語には、美人を示すものはいくつもあり、その一つは沈魚落雁。意味は、魚が泳ぐのを忘れ、飛んでいた雁が羽ばたくのを忘れてしまうほどの美人で、西施や王昭君の美しさが由来です。このように中国には美人に関する伝説は数多くあり、この本では美女たちに関する伝説を歴史と共に読みやすく描かれています！中国の美人たちの視点から歴史を読んでもらうのはいかがですか？

豊橋 **西 大聖さん**オススメ

『重力ピエロ』
伊坂幸太郎 著 (新潮社 2006) [新潮文庫]

名図文庫 913.6 : I68

第1回本屋大賞ノミネート、2009年に映画化された作品。仙台の街で起こる不可解な連続放火事件。全ての放火現場には「奇妙な落書き」が共通していた。そこで事件に興味を持ち謎解きに入り出す2人の兄弟がいた。落書きと遺佐子のルールの奇妙な関連性。謎を解き明かした時に2人が見た光景とは？伊坂ワールド全開のストーリー構成、きれいな伏線回収にはミステリー好きはもちろん小説が苦手な私でも一読読みしてしまう作品です。

名古屋 **井下 茜さん**オススメ

『林檎の樹』
ゴールズワージー 著 法村里絵 訳 (新潮社 2018) [新潮文庫]

名図文庫 933 : G17

徒歩旅行の途中、果樹園のある農場に宿を求めたロンドンの学生アジャースト。彼はそこに暮らす可憐な少女、ミーガンに心を奪われる。月の夜、白い花を咲かせる林檎の樹の下でお互いの愛を確かめ合った二人は、結婚の約束をする。だが旅立ちの準備で町へ出たアジャーストを待っていた運命は――。自然の美と神秘、恋の陶酔と歎け、そして青春の残照さが流麗な文章で綴られる永遠のラブストーリー。

豊橋 **斧田 汐香さん**オススメ

『平成くん、さようなら』
古市憲寿 著 (文藝春秋 2018)

豊図開架 913.6 : F93

舞台は安楽死が合法化された現代日本。平成を象徴する人物としてメディアに取り上げられた「平成くん」は平成が始まった日に生まれた29歳。しかしある日平成の終わりと共に安楽死がしたいと恋人である「愛」に打ち明ける。なぜ平成くんは死にたいと思ったのか。平成くんが出した答えとは？安楽死に関しては賛否両論あり、本書は決して安楽死の是非をめぐめる内容ではありません。ですが本書を通して「安楽死」について少しでも視野が広がれば幸いです。

豊橋 **宮崎 香那さん**オススメ

『何様』
朝井リョウ 著 (新潮社 2016)

豊図開架 913.6 : A83

2016年10月に映画化された原作「何者」のアナザーストーリー全6編を収めた短編集。光太郎が出版社に入りたかったのはなぜなのか。理香と陸良の出会い。瑞月の両親に何があったのか。拓人を落とした面接官の現在は。前作の「何者」を読んでからでも面白いですが読まなくても内容がわかる作品です。特に「何様」は面接官の視点で書かれた作品なので就活前の方や就活中、就活が終わった方に読んで欲しいです。ぜひ読んでみてください！

名古屋 **稲垣 澄香さん**オススメ

『コンダクター』
神永学 著 (角川書店 2010) [角川文庫]

名図事務 913.6 : Ka37

もし、貴方の中に失われた記憶があるとしたら貴方は、どうしますか？もし、それが貴方にとって大切な物だったり、人だったりしたら、どうしますか？この話は、フルート奏者の朽木奈緒美が体験した悪夢の7日間を描いたものです。頼るべき相手は信用できるのか？何が真実なのか？それを物語を通じて裏していく作品です。視点がコロコロ変わったり、バラバラの話が1つになっていくのが面白い作品なので是非読んでみてください！

名古屋 **香田 麻那さん**オススメ

『これが見納め 絶滅危惧の生きものたち、最後の光景』
ダグラス・アダムス、マーク・カーワディン 著 安原和見 訳 (みすず書房 2011)

名図開架 482 : A16

SF作家ダグラス・アダムスが動物学者たちと共に絶滅危惧種の生き物に会いに行くノンフィクション。一風変わった動物と、彼らを守るために不断の努力を続ける人間たち、そしてそれを台無しにしてしまう人間たちのまどろみが続いています。ある生き物が永遠にいなくなってしまうかもしれない。しかもそれが極めて身近な絶滅危惧種であるという事実は重いテーマですが、肉肉とユーモアを多量に含んだ語り口は軽快でとても読みやすいです。動物好きな人、笑いたい人、旅行記好きな人にも特におすすめします。

豊橋 **山川 佳菜さん**オススメ

『モンテレージョ小さな村の旅する本屋の物語』
内田洋子 著 (方丈社 2018)

豊図開架 024.37 : U14

イタリアの人知れぬ山奥に、本を愛し、本を届けることに命を懸けた人々がいた。それがタイトルにある「モンテレージョ」の人々である。本書は著者がヴェネツィアのとある古書店に出会ったことから始まる。この古書店から始まった不思議な縁はモンテレージョへ、さらに、本と本屋の原点へと繋がっている。読んでいる間は、著者と一緒にイタリアを旅している気分になります。本屋やイタリアに興味のある方は是非！

豊橋 **三島 朱理さん**オススメ

『ディズニー キズナの神様が教えてくれたこと』
鎌田 洋 著 (SBクリエイティブ 2017)

豊図開架 689.3 : Ka31

皆さんも1度はディズニーリゾートを訪れたことがあると思います。この本には、キャストやゲストたちの実話の一部に基づきながら、ディズニーに勇気を与えられた方のお話が3〜4編の物語で構成されています。ディズニーで働くキャストの方の人への思いやり、人を楽しませたいという気持ちが、誰もが感動するエピソードを生み出しています。とても感動する内容であり、心が温かくなるので、ぜひ読んでみてください。

名古屋 **佐藤 優さん**オススメ

『GOSICK : ゴシック』
桜庭一樹 著 (角川書店 2009) [角川文庫]

名図開架 913.6 : Sa46

アニメ化にもなった人気ミステリーシリーズ。超頭脳を持つ少女・ヴィクトリカと異国の留学生・久城が数々の事件を解決してゆく作品です。読んでゆくうちにヴィクトリカの可愛さにやられます。他のミステリー作品と違ってお堅い感じがなく、世界観やキャラへの愛着が湧いてきて癒されます。第二部も始まっており、長く楽しめる作品ですので、ぜひ読んでみてください。

名古屋 **柴垣 汐里さん**オススメ

『おすぎとピーコのこの映画を見なきゃダメ!!』
おすぎ、ピーコ 述 (学研 2005)

名図開架 778.04 : Su48

皆さんは、レンタルショップに行って作品を選ぶ時に迷うことはありませんか？選ぶ時のヒントにもなります。この本はおすぎとピーコさんがラブストーリー、人間ドラマ、コメディ、ホラー/サスペンス、SF/アクションに分けておすすめしたい映画を紹介しています。映画の話をしているうちに、話が脱線や発展していくケースもあります。二人の楽しいトークシーンをみているようでとても面白く楽しく読めます。読み終わったら皆で映画について語ってみてください。

豊橋 **角岡 侑実さん**オススメ

『春と修羅』
宮沢賢治 著 (日本図書センター 1999)

豊図開架 911.56 : Mi89 名図開架 911.56 : Mi89

「春と修羅」は宮沢賢治が生前唯一刊行した詩集です。本をあまり読まなくても、宮沢賢治の名前は聞いたことがあるはず。「銀河鉄道の夜」や「雨ニモマケズ」などの有名な作品で、聖人君子のようなイメージを抱かれる彼ですが、この詩集からはただの聖人君子でない賢治が感じられると思います。お綺麗なだけではなく、修羅のような生命の荒々しさを持つ詩。あなたのまだ知らない宮沢賢治を味わってみませんか。

豊橋 **大原 拓弥さん**オススメ

『博士の愛した数式』
小川洋子 著 (新潮社 2003)

豊図開架 913.6 : O24 名図開架 913.6 : O24

80分しか記憶もたないという記憶障害を持つ数学の博士の下への派遣を言い渡されたシングルマザーの家政婦。博士の数字を通じた独特な思いやりに触れていくうちに博士に興味を持ち始める家政婦。ある日からは、家政婦の息子もそこに加わるようになる。家政婦の息子は、ルートと博士に名付けられてとても愛される。日を追うごとに愛を深めていく3人。博士と家政婦そして、その息子との不思議な愛の物語。

名古屋 **小林 玲菜さん**オススメ

『マクベス』
シェイクスピア 著 大場建治 編注訳 (研究社 2004)

名図開架 932 : Sh12 : 7 豊図開架 932 : Sh12 : 7

みなさん戯曲を読んだことはありますか？戯曲とは演劇の台本、その形式で書いてある文芸作品です。シェイクスピアの4大悲劇といえど普段演劇に興味のない人でも聞いたことがあるのではないのでしょうか？マクベスはその4大悲劇の一つです。魔女の予言に惑わされ、その野心から破滅への道を歩いていくマクベスの物語です。比較的読みやすい戯曲だと思います。是非手にとってみてください。

名古屋 **野尻 晴葉さん**オススメ

『図書館の魔女 第一巻』
高田大介 著 (講談社 2016) [講談社文庫]

名図事務 913.6 : Ta28

精巧に造られた異世界を舞台にした、声の代わりに手で言葉を紡ぐ少女と、正体不明の少年のボーイミーツガール。鍛冶の里の少年キリヒは史上最古の図書館の主であるマツリカに仕えることになる。言葉とは何か。マツリカの語る言葉の性質の説明は、常日頃言葉を使っている我々の目を覚まさせるように強烈でした。SF小説のごく情報戦が繰り広げられる物語に、図書館にかかわる者たちの交流に、きっと夢中になれる小説です。

豊橋 **鎌田 楓鈴さん**オススメ

『向田邦子の恋文』
向田和子 著 (新潮社 2002)

豊図開架 910.268 : Mu27 名図開架 910.268 : Mu27

「寺内貫太郎一家」や「父の詫び状」などで知られる向田邦子さんは、昭和56年に不慮の事故で亡くなってしまった。それから20年経ち、妹の和子さんは遺品である茶封筒を開けることを決める。そこには、向田邦子さんとかつての恋人N氏が送り合った手紙が眠っていた。本書ではその手紙を通して、向田邦子さんの人柄に触れることができる。

豊橋 **櫻井 綾さん**オススメ

『麦の海に沈む果実』
恩田陸 著 (講談社 2004) [講談社文庫]

名図開架 913.6 : O65

3月の転入生以外には破滅をもたらすと言われる全寮制の学園に2月の最後の日に転入してきた理瀬。自分がこの学園に転入した理由は記憶がないため不明。性を日によって使い分ける不思議な校長は2月の最後の日に理瀬を入れた理由を、彼女が「特別である」からと告げ、理瀬自身が何故特別であるのか気づくまでここから出せないと言う。理瀬は自身が特別である理由に気づく、「3月の国」である学園から出ることはできるのか？

名古屋 **kahoさん**オススメ

『鳥類学者無謀にも恐竜を語る』
川上和人 著 (新潮社 2018) [新潮文庫]

名図文庫 457.87 : Ka94

筆者は、鳥から恐竜の見た目や生態等を予想していきます。読み進めるうちに、図鑑で見ている恐竜と私達の身近な鳥との相違点ばかり、想像が膨らみわくわくしていきます。各ページ一笑できる所も大きな魅力です。本文下にある注釈などの欄が特にオススメです。筆者の感想や雑学も含まれており、私はつい本文より先に読んでしまいます。筆者の想像力と笑いが詰まっている楽しい本です。ぜひ読んでみてください。

名古屋 **誉田 紗菜さん**オススメ

『未来世界から来た男』
フレドリック・ブラウン 著、小西宏 訳 (東京創元社 1963) [創元SF文庫]

名図事務 933 : B77

20世紀の三大発見は、忍びの術、不死身、不老不死の妙薬。の、はずだった！現代でも切望されるであろうその術を、なぜ発見者は公表できなかったのか…このフレドリック・ブラウンの短編は、爆笑はしないまでも、必ずニヤリと笑える作品が詰まっています。話にオチを求めてしまう人、星新一の本を読んだことがある人、最近暇だな…と感じる人にオススメです！シュールな笑いをあなたにお届けします。